

「大牟田市地域コミュニティアドバイザー会議(仮)」の進捗状況について

●会議設置の経過

「地域コミュニティの今後の在り方に関する提言書」において、「(2)時勢に即したリノベーション(自己変革)のための方策」の「気運醸成」の短期目標に「大牟田市地域コミュニティアドバイザー会議(仮)」の新設が提案され、R6.11月の本会議にて正式に設置が決まった。

●会議実績と主な内容

・第1回会議(R7.2.19)

→ 会議を立上げ、名称を「明日の地域コミュニティを共に考える会(あすとも会)」とした。
地域コミュニティに関する課題や本会が目指す方向性について協議を行った。

・第2回会議(R7.4.28)

→ 令和7年度に実施する事業内容を検討。

1. 若者の加入率向上に向けた啓発資料の作成を目指す。「防災」を題材に検討を開始。

2. 企業の若手職員向けに、コミュニティの重要性を啓発する研修の検討。

※ 上記以外にも、コミュニティの重要性を広く啓発できる事業(イベント)ができないか、啓発資料の作成にデジタルツールを用いられないか等が議論された。

※ 次の会議に向け、事務局にて市や市社協、各校区まち協が取り組んだ防災に関する資料集めを行うこととした。

・第3回会議(R7.9.22)

→ 1. 事務局が収集した防災資料の説明を行う。

(市:防災ガイドブックなど、市社協:ボラセン報告書、各校区まち協:防災マップなど)

2. 事務局が大正校区まち協の若手にヒアリングをした内容を報告。

災害・防災よりも、レクリエーションへ参加ができることなどをメリットと感じている。

→ 子どもの成長とともに若い世代がPTAを卒業し、地域活動から離れてしまう。

その世代との繋がりを保ち続ける、新たに関わりを作るにはどうするかが課題。

3. 企業向け研修について、まずは商工会議所職員、商工会議所青年部、青年会議所の会員向けに対し実施する(1月ごろ)。

※ コミュニティの強化に向けて、防災以外にも高齢者の孤立や子どもの居場所に対する関わり方などが課題との意見も出た。引き続き必要な情報収集を行っていく。

●今後のスケジュール

	令和7年度	令和8年度
あすとも会	<p>1月 企業研修</p> <p>第4回 会議</p>	<p>第5回 会議</p> <p>座長との協議 第●回 会議 など</p> <p>11月 任期満了</p>
事務局	<p>企業研修資料の作成等</p> <p>資料収集等</p>	<p>加入促進資料(案)の作成</p>